

「教材開発の基礎としての インストラクショナルデザイン」

第9講 魅力ある研修をつくる

又吉斎
(沖縄女子短期大学・特任准教授)



「魅力ある研修をつくる」

【目 的】

ガ二工の9教授事象をもとに、魅力ある研修のあり方と講師の指導力について理解する。

【学習到達目標】

- a. 魅力ある研修をつくる**講師**の指導力について説明できる。
- b. ガ二工の9教授事象について具体例をあげて説明できる。



「魅力ある研修をつくる」

魅力ある研修とは

画一的な教え込みの**講師**主導型の研修ではなく、**講師**の工夫によって**学習者**が教材や**研修**内容に惹きつけられ、学習者自身が主体的・協働的に追求する研修



講師の指導力



「魅力ある研修をつくる」

講師の指導力

＜講師の指導力を支える3つの力＞

① 受講者理解力

② 指導力

- ・ 教材を研究する力
- ・ 研修内容を構成し展開する力
- ・ 研修を分析する力 など

③ 組織マネジメント力



「ガニエの9教授事象」

ガニエの9教授事象とは？

学習心理学者のロバート・M・ガニエが提唱した**学習支援モデル**。授業や教材、研修の設計を行う際に、どのようなプロセスを踏むのが有効かを示した理論。近年注目されている、効果的な学習方法を設計するインストラクショナル・デザインのモデルの1つとされる。

ガニエは、教材や授業を構成する指導過程を“**学びを支援する外側からの働きかけ（外的支援）**”という視点で捉え、人が新しい知識や学びをどのように身に付けていくか分析を行った。その結果導きだされたのが9のプロセス（分類） = **9教授事象**。



「ガニエの9教授事象」

ガニエの9教授事象

指導上のポイント

導入

1. 学習者の注意を喚起する → 学習者に対して問いかけやクイズを行うことで、研修に誘導する

2. 学習目標を知らせる → 研修の目的・目標を提示することで、研修後のイメージを喚起する

3. 前提条件を確認する → 新しい学びのベースとなる知識の再確認として、既習内容を振り返る

情報提示

4. 新しい事項を提示する → 学習者に本時の学習内容を提示する

5. 学習の指針を与える → 学習内容のポイント整理、具体例の提示、関連資料（表・図・グラフ等）を利用する

学習活動

6. 練習の機会を設ける → 練習問題やグループ学習等、学習を反復する

7. フィードバックをする → 上記6への助言・指導を行う

学習のまとめ

8. 学習の成果を評価する → テスト等を用いて学習成果をチェックする

9. 保持と転移を高める → 研修後、学習内容が活かされているかチェックする（フォローアップ研修の実施等）



「ガニエの9教授事象」

ガニエの9教授事象

| | ガニエの9教授事象 | 社会科の授業の流れ |
|--------|----------------|--------------|
| 導 入 | 1. 学習者の注意を喚起する | → 資料提示 |
| | 2. 学習目標を知らせる | → 「なぜ~だろう」 |
| | 3. 前提条件を確認する | → 課題に対する予想 |
| 展 開 | 4. 新しい事項を提示する | → 新たな資料の提示 |
| | 5. 学習の指針を与える | → 個人追求（机間指導） |
| | 6. 練習の機会を設ける | → 全体交流「わかった」 |
| | 7. フィードバックをする | → 発言へのコメント |
| 終 末 | 8. 学習の成果を評価する | → キーワードまとめ |
| | 9. 保持と転移を高める | → 「自分の地域でも」 |



「魅力ある研修展開の工夫」

学習者を惹きつける導入の工夫 (あれ、なぜだろう)

- 1 学習者の注意を喚起する
 - ・奈良の大仏の実物大の手を提示
- 2 学習目標を知らせる
 - ・ **学習者の疑問を課題につなげる**
- 3.前提条件を確認する
 - ・ 前時までの学習者の知識、経験の想起、確認



「魅力ある研修展開の工夫」

「わかった」が実感できる展開の工夫 (そうか、わかった)

- 4 新しい事項を提示する
 - ・ 既習事項と違う新たな資料の提示
- 5 学習の指針を与える
 - ・ 個別指導で学習者の実態に即した助言
- 6 練習の機会を設ける
 - ・ **自分の考えを仲間と交流して深める**
- 7 フィードバックをする
 - ・ 学習者の発言への適切なコメント



「魅力ある研修展開の工夫」

学習の成果の定着を図るまとめの工夫 (こうやればできるんだ)

- 8 学習の成果を評価する
 - ・ キーワードを使ってまとめる

- 9 保持と転移を高める
 - ・ 自分達の地域にも及んでいたことがわかる資料の提示→共通性



「講師の基礎基本」

講師が身に付けるべきスキル

- 1 発問・指示・説明
 - ・ 吟味された発問、明快な指示・説明
- 2 全体への目配りと個への心配り
- 3 板書計画
 - ・ 学習者が追求した過程が分かる板書
- 4 机間指導
- 5 学習者への言葉かけ
 - ・ 位置付け、価値付け、方向付け



「講師の基礎基本」

学習者に身に付けさせたいスキル

- 1 聴く力
 - ・ 聞く(形で聞く)→聴く(中身で聴く)
- 2 話す力
 - ・ 比べながら聞き、「同じ、違う」で反応
- 3 話し合う力
 - ・ お話チームワーク→みんなでつないで深める



学習環境を整える

学習環境の工夫

- 1 掲示物の工夫
 - ・ 教科の学び方のよさが分かるノートの掲示→学習の仕方を広める
 - ・ 学び方のステップ表の掲示
- 2 研修に活かす学習環境の工夫
 - ・ 学習者の主体的な追求を支える学習環境の工夫
 - ・ 研修の内容と関連する本を設置



ワークショップ

- **ガニエの9教授事象を基に、魅力ある研修をつくるのにどのような研修展開をするとよいのかを具体的な研修テーマを設定して、グループで話し合って発表しなさい。**

【ポイント】

- (1) 学習者を惹きつける導入の工夫
- (2) 「わかった」が実感できる展開の工夫
- (3) 学習の成果の定着を図るまとめの工夫



「教材開発の基礎としての インストラクショナルデザイン」

第9講 魅力ある研修をつくる

又吉斎
(沖縄女子短期大学・特任准教授)

